

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゴーピー		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 10日		～ 2025年 9月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		～ 2025年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い活動スペースでの支援ができる 個別遊び、集団遊びを組み合わせることで成長発達を促す支援を実施しております。	来所されているお子様や、活動に応じてフロアマットの配置を変更しながら安全に活動に取り組めるよう工夫しております。 集団遊びの時間や個別活動の時間を設け、季節の遊びや集団でお友達と遊ぶ楽しみ、また個別でゆっくりと向き合っており取り組む時間等様々な活動を通して発達、習慣付けを行っております。	一人一人が活動的に参加できるよう工夫を行ってまいります。
2	保護者様との情報共有を行い、特性に応じた支援を行うことができる	児童発達支援利用には送迎の実施はしておりません。保護者様が送迎に来ていただいた際に日ごろのお子様の様子や変化をお話したり、お困りごとを伺ったりすることができるようにしております。	お子様の成長を保護者様と一緒に共有しながら発達支援を行えるよう今後も努めてまいります。
3	災害訓練の定期的な実施	毎年年間計画として、月に1回地震、火災、不審者対応等の災害訓練を施設内で実施しております。また年に1度保護者様もご参加いただき防災センターでの研修に参加し保護者様と一緒に防災について考える機会を設けております。災害時の緊急連絡としては「災害伝言ダイヤル」を活用できるように保護者様にもお願いし訓練に参加いただいております。	今後も災害訓練を継続的に実施していきたいと考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の児童が少ない。	現状、児童発達支援の児童が少なく、就学児童が多いため利用時には同年代のお子様との関わりはお兄ちゃんお姉ちゃんとのかわりが増えてきています。	児童発達支援のお子様のご利用もお待ちしております。また児童発達支援の時からご利用いただき、就学後の利用が安心してできる環境になればと考えております。
2	児童発達支援時には送迎は実施しておりません。	送迎は実施しておりませんが、保護者様が事業所に来ていただくことは、事業所でのお子様の様子を見ていただいたり、ご自宅でのお子様の様子をお聞かせいただける大切なお時間として考えております。	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ゴービー

公表日 年 月 日

利用児童数 1名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1名					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1名					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1名					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1名					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1名					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1名					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1名					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1名					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1名					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1名					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1名					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1名					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1名					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1名					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1名					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1名					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1名					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1名					
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1名					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1名				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1名				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1名				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1名				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1名				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1名				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1名				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1名				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1名				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1名				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスゴービー					公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7名		活動スペース、静養室、相談室が整備されています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7名		各職種、定員に応じた配置となっています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7名		バリアフリー、手すり等が整備されています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7名		バリアフリー、マット、クッション等子どもに合わせたものを使用できるように工夫しています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7名		静養室があり体調不良等に対応できます。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7名		月に1度のスタッフ会議と、業務前にミーティングを実施しています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名		毎年の評価アンケートを実施しています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6名	1名	月に1度のスタッフ会議と、業務前にミーティングを実施しています。	スタッフ会議やミーティング時にスタッフの意見を聞くように努めていますが、足りない部分があるようですので改善に努めます。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3名	3名	学生、ボランティア等外部の方を受け入れています。	評価までは行えていなかったため、外部から来ていただいた方からのご意見を伺い業務改善に努めます。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7名		外部研修には積極的に研修参加に努めています。また外部で受けてきた研修の伝達講習や、スタッフ会議内でのプチ勉強会等も開催しています。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7名		インスタグラムで公開しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7名		定期的なモニタリングを実施し、スタッフで話し合いを行い計画立案を行っています。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7名		個別支援計画は、必ず支援会議を開催し検討したうえでの立案を行っています。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7名		個別支援計画の会議を行った上で計画立案を行っているため、スタッフが個々の計画を理解し支援にあたっています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5名	2名	ツールとしては発達の段階に応じた表をスタッフがみれるようにし、今の児の行動の段階であったり、今できていることから次のステップアップはどのようなことかを考えるようにしています。また家族様との話の中からの状況も踏まえてアセスメントを行っています。	ツールの活用が不十分なところがあるため再度見直しを実施します				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7名		個別支援会議で、各項目の狙いを踏まえたとうえで立案を行っています。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6名	1名	活動プログラムに関しては保育士がメインとなって立案を行い、スタッフに周知し、意見交換等を実施しています。	チームでの立案ができていないと感じているスタッフがいため改善に努めます。				

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7名		活動プログラムに関しては保育士がメインとなって立案を行い、スタッフに周知し、意見交換等を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6名	1名	個別支援計画をもとに、集団活動、個別活動を実施しています。体調不良等で参加できない場合もあるためその時には別の個別活動を考えたり場合によっては保護者様にお迎えをお願いする場合もございます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7名		開始前のミーティングは必ず実施しています。前日に振り返りができなかった場合もこの時に行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5名	1名	必要な情報、ヒヤリハット等の振り返りは必ず実施しています。	支援後振り返りがその日のうちにできておらず、翌日以降になることがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6名	1名	日々の日誌にくわえ、送迎時にご家族様から聞いた情報等必要な情報は必ず記録に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7名		定期的に開催しているモニタリングを実施し、ご家族の意見も踏まえながら個別支援会議を実施し見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7名		管理者、児童発達支援管理者が参加しています。また会議の内容によっては専門職が参加します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7名		担当者会議には参加し、情報共有を行います。参加できない場合には事業所での様子をまとめたものを作成し情報共有ができるように努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7名		児童発達支援の間は保護者様に送迎をお願いしています。来ていただいた際に現状や、就学についてのお話をさせていただいたりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6名	1名	担当者会議には参加し情報共有を行いながら支援にあたっています。	放課後等デイサービスの子供が多く、児童発達支援の子供の移行の機会が少ない状況です。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4名	2名	困りごとに関してはスタッフから、上司に相談したり、会議で話し合ったりしています。それでも難しい場合は児童発達支援センター等への相談と段階を踏んだ利用をさせていただいています。また育成事業に参加させていただき相談させていただいています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3名	4名	保育所やこども園等に出向くことはないが、近隣の公園等に散歩に出かけると、地域の子供たちが声をかけてくれたりすることがあります。	今後機会があれば交流の場を設けていきたいと思えます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7名		電話、LINE連絡を実施しています。また送迎時には短い時間ですが子どもの様子をお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7名		災害訓練の参加を呼び掛けたり、茶話会を開催しています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7名		契約時にご説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7名		モニタリングを実施し、ご意見を伺いながら個別支援計画を作成しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7名		計画立案後に保護者様へ内容についてご確認いただき、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7名		電話やモニタリング、送迎時にご相談いただき、支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5名	2名	父母の会はございませんが、保護者同士で交流する機会を設けるために茶話会や災害訓練の参加をお願いしています。	保護者交流の機会はもうけていますが、兄妹の交流はできていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7名		相談に関しましてはその都度お受けし、できる限り対応できるように努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7名		ゴービー通信を3か月に1回くらい発行しております。またインスタグラムで日ごろの活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7名		個人情報の取り扱いには十分に注意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7名		日ごろの様子や表情から子供たちの意思をくみ取ることができるように努力しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2名	5名	不特定の方をご招待できるようなイベントは開催できていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7名		毎月想定をし訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7名		定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7名		医療情報連携用紙を主治医に記入をいただいています。またお薬の変更や発作時の対応が変わった時などはその都度ご家族様から情報を提供していただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7名		医療情報連携用紙を主治医に記入をいただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7名		年間の安全計画に基づいて実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6名		安全計画に基づいて実施しています。災害時対応等に関しましてはご家族様にもお伝えしております。	安全計画書をご家族様へ公開はしておりません。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7名		ヒヤリハットに関してはその都度スタッフで内容を共有し対策を考え実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7名		定期的に開催しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7名		身体拘束が必要な場合に関しては同意書を交わし、計画に記載しています。		